

マウンテンバイクオリエンテーリング

マウンテンバイクオリエンテーリング（以下MTBO）は、2002年から世界選手権が開催され、各国に急速な広がりを見せています。

チェコでは、元々オリエンテーリングとMTBのロゲイニングに大変な人気があり、参加者1000人を越える国際大会が幾つも開催されています。デンマークでは、すべてのスポーツクラブでフットOだけでなくMTBOを実施する方針を打ち出し、MTB愛好家や選手をオリエンテーリングに取り込んで、オリエンテーリング普及へ目覚ましい成果を上げてきています。

近い将来、フットOのようにほぼ全てのヨーロッパ諸国で開催されるようになるでしょう。

あなたもフットのトレーニングに 自転車—— MTBOを体験してみは？

MTBO日本ナショナルチーム（以下MTBOチーム）は、合宿や練習会を月1回程度実施しています。地図はO-Mapか、市販地図ソフトから詳細なMTB用地図を作成して使用します（縮尺1：15,000～20,000）。通常フラッグは設置せずに、各自がGPSをバイクにセットして走行。練習後はデータを集計してルートと比較したり、ラップ解析を行っています。MTBOはフットOと違い、道・トレイルを外れてはいけないため、キロ2分前後の大変高速なレースで、フットOでは想像もつかない難しいルートバリエーションがあります。

MTBOチームメンバーは、フットO経験のあるオリエンティアだけでなく、アドベンチャー系の選手や、『とれとれ』と呼ばれる地図を使ったMTB長距離レースの選手など様々です。

あなたもMTBで野山を駆け巡り、MTBOを体験してみたいか？ とても楽しいですよ。フットのトレーニングに自転車を始めてみませんか。

MTBレース参戦

春から秋はまさにMTBのシーズン。中でも「Jシリーズ」はオリンピック選手も含めてトップ選手が集う年間シリーズ戦。レース毎の獲得ポイントによってカテゴリが上下します。昨年度宮内選手は最上位エリートクラス最終戦5位（もの凄くスゴい！）、羽鳥選手も参戦2年目でエキスパートクラスに昇格して中位を走り、さらにエリートを目指しています。今年もメンバーはこぞって挑戦します。

シクロクロスレース

本場ヨーロッパでシーズンオフの冬期間にロードレースのトレーニングとして行われていたのが始まりの種目です。

レースの舞台は郊外の公園や高原、牧場、林の中、決められた周回数を走りタイムを競います。シーズン競技ながら関西地区レースでも参加者600人以上と大勢の観客を集め、プロショップが会場に立ち並ぶ大変な人気です。冬のシーズンはシクロクロスを舞台にトレーニングを重ねています。

いま、日本でも自転車がブームです。
ぜひMTBOをきっかけに、
バイク生活を楽しんでみてください。
オリエンテーリングだけでなく
自分の世界や視野を広げたい方、MTBOを始めましょう！
お近くのMTBOチームメンバーにお声がけください。

MTBOチーム オリエンティアの主なメンバー…羽鳥和重（川口OLC）、樋口一志（朱雀OK）、多田宗弘（多摩OL）、新隆徳（入間市OLC）、名児耶敏也（広島OLC）、宮内佐季子（ぞんび〜ず）、加納尚子（朱雀OK）、藤島由宇（三条OC）、源後知行（ぞんび〜ず）、皆川美紀子（みちの会）、足立辰彦（OLCルーパー）など。



全日本オリエンテーリング大会会場で MTBOを体験しよう！ MTBO体験会を開催します

1周5分程度のコースを設定します。気軽にMTBOを体験できます。本格的な競技用MTBに一度のってみたい、見てみたいという方も大歓迎。宮内選手に挑戦、勝てるかも！？

中学生以上で自転車が乗れる方ならOK。フットOのレース前に見るだけでも、そしてレース後には体験会に。

お気軽にお立ち寄りください。

【受付場所】全日本大会会場内MTBOブース

【受付時間】随時やっております

【持ち物・服装】オリエンテーリングができる寒くない格好でどうぞ。ゴーグルとグローブ（手袋）があればお持ちください。バイク、ヘルメット等はお貸しします。

【参加費】無料

合宿参加もどうぞ

MTBOチームは全日本大会の期間3月19～21日とMTBO合宿を開催します。どんなレベルでも参加OKです。ハードなトレーニングに一度揉まれてみたい、バイクはやったことがないがどこまで戦えるか試してみたい、MTBに乗って林を走ってみたい、バイク貸し出しも含めてご相談にのります。mtbo-info@orienteering.comまでご連絡下さい。

「本気で世界選手権メダルを獲りに行く」 宮内選手にご支援をお願いします

さて問題です。

オリエンテーリング世界選手権で今まで最も活躍した選手は誰でしょう？

正解はトレイルOで2005年銅メダルの杉本光正、09年銅メダル木村治雄です。

それでは、タイムを競う3種目の中では誰でしょう？

1976年杉山隆司26位。答えた人は大変すばらしい。2003年塩田美佐は23位、知っていた人はかなり良くご存知です。スキーO世界レベル選手である堀江守弘は2007、09年23位を2回、女子エース酒井佳子は2005、07年に21位を2回それぞれ記録しています。

しかし、宮内佐季子は彼らをはるかに凌ぐ好成績を収めています。

2010年ミドル決勝は14位、トップ比108%入賞目前でメダルまでわずか3分30秒でした。MTBO世界選手権では、誰もが日本人の彼女の強さを知っています。

宮内選手は言います。

「でも、ミドルはあまり得意じゃない。ロングはちゃんとレースをすればメダルを確実に取れる。もっとMTBOが上手くなること、そして強くなる必要があります。」

アドベンチャーレースの国際試合を数多く経験し、2003-05年のフット世界選手権日本代表で決勝進出の活躍し、2005年全日本選手権優勝も果たしました。

2009年からMTBO世界選手権へ本格的に取り組んでいます。

彼女はイタリアMTBO世界選手権を目標にして、自転車トレーニングを積んできました。自転車の實力は、MTBJシリーズ最終戦5位入賞、全日本シクロクロス選手権3位入賞をおさめ、日本自転車連盟(JCF)からオリンピック競輪選手やプロ選手と並んで日本代表候補強化選手指定を受けています。MTBOでの脚力は世界トップレベル、あとは本場の練習と周到な準備でメダルに手を届かせるだけです。

メダルを獲りに行きたい

宮内選手は毎日3時間以上の練習時間を確保するため、アルバイト生活を続けています。今年はさらに世界選手権までに3回の海外遠征を計画しています。自転車は大変お金がかかるスポーツで、トップ競技用のバイクは80万円前後(種目毎に必要)ですし、機材スポーツはお金がかけられないと重量やパフォーマンスのハンデを背負ってしまうという性質があります。

「本気で世界選手権メダルを獲りに行く」、彼女が最大限の結果を得るには資金が足りていません。日本オリエンテーリング界初の快挙と夢の実現に向けて、宮内佐季子に1秒でも速く走れる機材の購入や、重要な海外遠征に(宮内選手個人向けの)資金援助をぜひ宜しくお願い致します。



「MTBOもヨーロッパではレースがたくさん開催されていて、女子のレベルがぐっと上がるのも時間の問題です。世界のライバルたちはどれくらい速くなったのだろうか。」

私も世界選手権までベストを尽くしてメダルを獲りに行きたい」

**支援振込先 みずほ銀行 出町支店 (店番号587)
普通1865712 ミヤウチ サキコ**

一口5000円で宜しく御願います。
振り込まれた方は是非、

mtbo-info@orientteering.com まで、住所、氏名をぜひご連絡下さい。イタリアお土産など御礼をしたいと考えています。6口以上支援頂いた方には、宮内佐季子サイン入り、MTBOナショナルチームジャージをお渡しします(身長、体重をご連絡下さい)。



世界選手権国内予選会開催のお知らせ

今年の世界MTBO選手権大会2011年8月20日(土)～28日(日)。北イタリアのヴェネト州ヴィツェンツァにて開催されます。

出場希望者は下記要領で発表の日本代表選考会にエントリーください。

これからMTBOに挑戦したい、MTBライダーの方歓迎します。

【開催日】2011年5月22日(日)

【会場】静岡県富士市

【ウェブサイト】<http://www.orientteering.com/~mtbo/>

【問い合わせ先】mtbo-info@orientteering.com

選考会に先立ち、MTBO練習会も開催予定です。

エントリー詳細は、ウェブサイトで最新の情報をご覧ください。問合せ先にご連絡下さい。